

境港市民ワークショップ 開催結果

次期境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）の策定に向け、市民の意見を取り込むとともに、市民の関心を促すため、ワークショップを開催しました。

1. 開催日時・場所

令和3年9月12日（日）午前10時～正午 市役所保健相談センター講堂

※当初、2回の開催を予定していましたが、鳥取県西部地区において、鳥取県版新型コロナウイルス警報（特別警報）が発令されたことを受け、令和3年7月21日（水）午後7時～午後9時開催予定分については、中止し、令和3年8月1日（日）午前10時～正午開催分は延期としました（延期分が本ワークショップ）。

2. 参加者

市民16名（2名欠席）・市職員4名（ファシリテーター）

3. 開催方法

まちづくり総合プランに掲げる基本目標1～4ごとに班分けし、1班につき市民4人とファシリテーター1人で構成し、「それぞれの分野の課題は？」「基本目標達成のためにすべきことは？」というテーマで協議を行いました。

○班分け

班	分野・基本目標
1班	子育て・健康・福祉 （基本目標1「誰もが安心して元気に暮らす支え愛のまちづくり」）
2班	観光・産業・広域連携 （基本目標2「さかな・鬼太郎・港を生かしたまちづくり」）
3班	教育・文化 （基本目標3「地域を担う人を育むまちづくり」）
4班	環境・都市基盤・防災 （基本目標4「自然と共に安全で住みよいまちづくり」）

※基本目標5「未来につけを回さないまちづくり」については、それぞれの班で協議を行う中で、協働やデジタル化、行財政という視点も踏まえ、話してもらいました。

4. 新型コロナウイルス感染症対策

延期の末、開催した市民ワークショップですが、開催にあたり、以下の感染対策を実施しました。

- ・参加者には、事前に、県外への移動を控えてもらうよう依頼した上で、当日は、問診票に現在の症状や移動歴・接触歴を記入するよう義務づけ。
(熱症状・移動歴・接触歴のある参加者はいませんでした)
- ・参加者には当日、検温・消毒の実施、マスクの着用を義務づけ。
- ・参加者は、近い距離で対面にならないよう配置し、参加者の間にパーテーションを設置。
- ・ファシリテーターはフェイスガードとマスクを着用。
- ・会場は常時窓を開けた状態にし、2回の休憩時間には机等の消毒を実施。

5. ワークショップでの意見（ファシリテーターからのまとめ）

【子育て・健康・福祉】

- ・公園の草刈の回数を増やしてほしい
- ・ひまわり、きらきらのような子育て支援施設が近所にほしい
- ・家の近くに子供が遊べる場所、高齢者が体操できる場所などがほしい
⇒スマホなどで情報発信を
- ・はまる一歩バス1時間に一本しかなく不便
- ・公民館の使用方法⇒スマホで情報発信を
- ・若者が集まる場所づくり⇒空き家の利活用
- ・大人の引きこもり対策⇒気軽に話のできるカフェの開設

【観光・産業・広域連携】

- ・水木しげるロードは周辺の一部のみしか盛り上がっていない
⇒市全体で盛り上げる
- ・近年ペット需要が増えており、観光客もペット同伴が多い
⇒ドッグランの整備が必要
- ・境夢みなとターミナルと水木しげるロードをつなぐバスの整備
- ・水木しげるロード以外の観光の造成
⇒サイクリングコースを活用⇒市や自治会などでサイクリング・ウォーキングのイベントを開催
- ・おさかなロードの情報発信、利活用を進める
- ・431沿いのキャンプ場があるが、交通量が多く騒音がある
⇒静かな場所（荒廃農地など）にキャンプ場を整備する
- ・農産物の製品化。新たな魅力創出

- ・海の資源を活用⇒現在は水質が悪いので海水浴場が開設できない？
⇒水質を改善して正式な海水浴場を目指す
(注：鳥取県海水浴場整備促進要綱の整備基準及び水質基準を満たす必要がある)
- ・荒廃農地の賃貸借の手続きを簡略化して、荒廃農地の活用を進める
- ・広域連携⇒中海・宍道湖・大山圏域だけでなく全国の港町と連携を強化する
- ・市全体として情報発信が不足している⇒SNS や Youtube の活用

【教育・文化】

①平和教育・歴史教育の推進

②コミュニティスクールの具体的な展開

⇒若者の居場所、関わりが不足している

- ・①、②について、世代を超えて情報を共有する場所、高齢者が若者に伝える場所づくり
- ・「ワクワク境港」が新型コロナウイルス感染症により中止となったが、子供だけでなく、教える側の大人にも若者と関わりが持てる良い機会となっている
- ・登下校のマナーが悪い（特に高校生）
⇒多様な次世代交流を子どものころから作り、地域で教育する
- ・市民交流センターについて、市民の意見が聞けているか。
⇒市民の声を聴く、市内に目安箱のような物を設置してはどうか
ネット、SNS など様々な手段で市へ伝える手段が必要
- ・公民館や地区会館など、現在ある施設の利活用を考える

【環境・都市基盤・防災】

- ・ゴミの問題、不法投棄や分別の不徹底など、まだまだ市民の意識が低い
⇒ゴミ収集の自動化（ロボット化）、ゴミや環境などの研究機関を作る
- ・エネルギー問題⇒自然エネルギーの活用、海の海流を生かした発電など
- ・交通機関が不便。車がないと生きていけない。
⇒公共交通の充実が必要。海を使った交通ルート
- ・生活道路が狭い。消防車が入れない⇒インフラ整備が必要
- ・ウォーキング人口も増えており、夜間道路の安全確保として街灯のさらなる整備や繁華街の復活が必要
- ・空き家を活用して開業を体験する施設の整備
- ・空き地をいっそのこと広場にし、子どもたちが遊べるスペースにする
- ・防災無線が聞き取りにくい⇒各家庭に戸別受信器を整備する
- ・ドローンを活用した物流の推進
- ・自動運転の試験導入
- ・ネット環境の整備推進（大容量のネットワークサービスの誘致）

6. ワークショップでの個々（ふせん）の意見

【子育て・健康・福祉】

それぞれの分野の課題は？

- ・家で子育てしている（無職で保育園に入れなかった）近所に遊び友達がいない（家の大人とだけ遊んでいる）
- ・子どもの遊びについて 昔ながらの遊びの伝承 ケイタイに頼っている母親？
- ・若い子育て世代が気軽に集う居場所がたくさんあると良い。地域で歩いていける場所（公民館もOKです）ひまわりは車が必要
- ・待機児童ゼロは本当に子育てに良いのか？3才までは親育てが良いのでは
- ・文化（学ぶ場所）地域つながり
- ・大学 人流をつくる
- ・空家 移住支援
- ・水木しげるロードに空家 ビジネス体験
- ・移住の支援金の対象が東京限定になっている
- ・市民交流センターのような規模ではない小さなコミュニティが少ない
- ・支援団体が少ない
- ・若者コミュニティ
- ・ちょこっとカフェが公民館で月1回開かれていた（コロナで中止）
- ・病気になるための健康体操など出来る場所
- ・はまるーぶバスは車イスの人がのれるようになっているのか？
（注：車椅子の方も乗車可能です）
- ・一人暮らしの人が気軽に集まれる場所
- ・運転免許証返納⇒行動範囲が制限される
- ・スマホアプリの活用
- ・若者の集まる場所がない
- ・免許返納後、はまるーぶバスの乗車券とタクシーの乗車券の配布を二択制にしてほしい
- ・近所づきあいが少しずつ希薄になってきている
- ・大人のひきこもり

基本目標達成のためにすべきことは？

- ・公園に草が伸びていて遊びにくいので草刈りの回数を増やしてほしい
- ・保育所に入る前の子（大人も）が遊べるところを作る（園庭開放など）
- ・LINEなどで友達からサークル（運動）の情報を聞く
- ・はまるーぶバスの利用がもう少し便利に。コースを増やすなど
- ・公民館とかでサークルではなく地域の人が集まれる時間を作る
- ・ボランティアまでではないが活動したい

- ・健康体操等の場を各自治会や公民館の行事に取り入れる。一人生活の人も行けるかも
- ・自転車ヘルメットの補助金
- ・自転車貸し出し 1000円

【観光・産業・広域連携】

それぞれの分野の課題は？

- ・サイクリングイベントが少ない
- ・水木しげるロードに無関心な市民
- ・水木しげるロード（妖怪）⇔魚市場・海くら資料館を行き来できる流れ
- ・犬と人が一緒に楽しめるテーマパークとして市内にドッグラン併設
- ・水木しげるロード カフェ・ランチなど利用の時間帯
- ・来て下さい→連れて行って欲しい（観光案内）
- ・魚以外の特産（おみやげ）の開発 生ものじゃないスイーツ系など
- ・みなとタワーとターミナルと水木ロードを結ぶピストンバスがあれば良い
- ・Youtube Instagram Twitter に情報発信
- ・海の水質改善
- ・魚だけでなく農産物のブランド化
- ・海中に沈める電力発電タービンでカーボンニュートラルに貢献する
- ・フィッシャーマンズワーフ 空家利用
- ・耕作放棄地がみにくい
- ・ピンポイント農産物の製品化
- ・魚が肉より高価
- ・中海圏のイベントもっとさかんに
- ・ワーケーションプランの充実
- ・観光地分かりにくい 看板
- ・サイクリングロードを子供達が団体に利用する機会
- ・観光資源のストック見直し 鬼太郎・漁業以外
- ・環境と併せた観光へ グリーン・ブルー・ダークツーリズム
- ・未利用地へ企業誘致
- ・広域 中海エリアとともに 港町での連携
- ・大型スーパーは増えないが昔からの店が段々減ってくる（行政としての考え）
- ・小売店へ 地産地消をうながす

基本目標達成のためにすべきことは？

- ・小学校の総合学習で水木しげるロードについて学んだ一身近に感じる
同じように地元の海について学ぶ機会を！（林業）山の恩恵
- ・イベントをたくさんするための企業スポンサーの獲得（企業への営業）モンベル・

ミズノ

- ・企業版ふるさと納税の対象となる事業立案（財源確保）
- ・耕作放棄地をキャンプ場に
- ・砂浜の美化
- ・下水道 100%整備
- ・海水浴場の開設、マリンスポーツの充実
- ・荒廃地利用 若者農業者を増やす 農産物の宣伝
- ・学校・自治体単位でサイクリングロードを体感する機会をつくる
- ・農地の貸し出しを簡単にし、農業がしたい人が増えるように
- ・漁業の栽培化の工夫で安全な職業に
- ・近海の魚の調理法普及
- ・中海のゴズ・赤貝が復活するよう水質・流れの研究
- ・実証実験企業への税優遇
- ・海中ドローンの実証実験の日本一の港 漁業関連×IT への投資
- ・歴史をもっと活用 港町の形成を歴史化

【教育・文化】

それぞれの分野の課題は？

- ・平和教育の推進 学校教育、生涯教育
- ・歴史資料館のようなものが欲しい
- ・二中校区のCSの具体的な展開
- ・高齢者の集う場所はあるが、若い人の集う場所がない。気軽に世代交流できる場所が必要。
- ・公民館のあり方
- ・市民交流センターの活用方法
- ・笑顔 見守り隊
- ・公民館を活用する 今ある施設
- ・広報
- ・公民館・市民交流センターに子どもが立ち寄りやすい仕組み
- ・境港市外でも同じ山陰圏内の偉人、歴史的・平和的なことをした人を知る機会を子供達に。加納莞薔、永井博士など。
- ・高校生の登下校時のマナー
- ・中学生職業教育

基本目標達成のためにすべきことは？

- ・戦争遺跡の遺品の保管を進めて、市民に公開出来る施設
- ・郷土の偉人等に関する話を子供達にしてほしい。郷土愛に少しはつながるのでは
- ・小学校を卒業した中・高校生と小学生との交流の場

- ・異世代が気軽に交流できる場所。特に若い世代の居場所を作ってほしい
- ・市民の声BOX 目安箱 わかりやすい場所に置く
- ・意見を届ける方法 わかりやすく

【環境・都市基盤・防災】

それぞれの分野の課題は？

- ・ゴミ処理、不法投棄
- ・ごみの量減っているの？
- ・リサイクル分別されているの？
- ・ごみの不適切な投棄が多い
- ・自然エネルギーの割合多いの？
- ・海洋（岸）に対する市民意識を調整
- ・公共交通の不便さ
- ・車がないと生活ができない
- ・若者が少なく自治会機能の低下
- ・原発での避難路計画
- ・防災インフラ（放送・高台）
- ・一人くらしの防災ケア
- ・生活弱者の震災時の対応
- ・消火栓・水路が必要
- ・防災訓練できているの？
- ・ゴミ収集場所のアルミ収集箱の設置が出来ないか？
- ・海の水質が悪い
- ・消防水利の不足
- ・行政無線の点検 聞こえづらい所が多くある

基本目標達成のためにすべきことは？

- ・市として仕掛けをつくる
- ・数十年先から逆算した具体策を
- ・まちの中のゴミを再利用
- ・ゴミ・環境 研究機関をつくる
- ・ゴミ収集ロボット
- ・下水道100%整備
- ・海流タービン発電 CO2削減
- ・第3の交通ルート⇒海洋
- ・中央のグリーンベルト地区を開放・研究
- ・水質改善して海水浴場開設
- ・コンパクトシティ化 歩いて行政手続できるように

- ・スマホで買い物・手続き
- ・分野を横断した話し合い
- ・生活道路を使いやすく 住宅地 道路
- ・防災道路の整備
- ・夜の街灯整備→夜の活用
- ・夜間に安心してウォーキング出来る歩道の整備
- ・夜の飲屋街の充実
- ・内浜外浜の道路3車線計画
- ・開業体験などの「体験」を売る。
- ・移住支援の範囲拡大
- ・空家の利活用+移住
- ・空地の広場化
- ・各家庭（全戸）に防災無線
- ・ドローン（レベル4 無人）の活用 物流 消防
- ・Maas(Mobility as a Service)自動運転の日本一進んでいる市へ
- ・大容量ネットワークサービスの誘致

6. アンケート結果

Q1. 参加者と話してみて、特に印象に残った意見や、話しそびれた意見などありましたら、ご記入ください。

【子育て・健康・福祉】

- ・地域の大人全員で子どもたちを見守る体制づくりが必要（コミュニティスクールの充実）。
- ・車がない中ででの生活の不便さ。皆、関わりを求めていると感じた。
- ・友人で、出かけるところがない。今日で3日も誰もしゃべっていない。人も来てくれない。認知症になりそうだ、といつもグチっている人がいる。シルバーのたまり場がほしい。
- ・人間ドッグ、脳ドッグの年齢制限をなくしてほしい。
- ・90才の母は野乃の足湯にはまる一歩バスに乗って行き、コミュニティができていく。かつフレイル対策にもなっている。市内の各所に高齢者が毎日通いたくなる設備や仕組みがあれば健康増進（フレイル）対策となる。
- ・若者の交流の場所がない。空き家対策も兼ねて、そのスペースを作ってほしいという意見に、その通りだと思う。少子高齢化の進む中、人口減少に歯止めをするため、若者が定着できる環境を市が助成するべきだと思う。
- ・安心して出産、子育てができる境港をつくるのは私たち大人の責任だと痛感した。
- ・福祉の面で交流場所、移住支援、大学を誘致し人流をつくるという意見。私も前

のワークショップで日南町の林業学校のような、境港では漁業学校をつかって若者を呼び込む、という意見でした。

- ・高齢者対策と子育てが合わせて出来ると両方にとって良い方向に行くと思いました。はまるーぷバスがもっと身近になり使い易くなると良いです。
- ・健康で生活できるよう百歳体操等を公民館などで行う。学童以外でも共稼ぎの子でも気軽に学校帰りに寄れる場所があったら良いと思う。
- ・高齢者の交通手段についてどう考えるか。ポケットパーク⇐空地対策

【観光・産業・広域連携】

- ・海を利用した観光の充実発展させてほしい。農業者を応援し、農産物でも日本一のブランドを!!
- ・旅行の際、通過点となっている印象が強い。深夜や早朝など泊まらなければ出来ない体験を提供できればと思う。
- ・鬼太郎ロードだけではつまらない。歴史遺産も境港には残っている。そういうものを活用して誘客出来る街にしてほしい。
- ・海をきれいにしていく意識、水質改善。耕作放棄地の課題意識。日本でも有数な便利さを持つ都市⇒先進的な田舎都市を目指す。
- ・川・海の水質改善⇒海水浴場のある境港へ。子供の数よりも多い愛犬家を呼びこめる犬にやさしい観光地!⇒市内に1つでもドッグランがあると、地元人の犬と観光客の交流も可能!空き地をオートキャンプ場に!
- ・課題を沢山見て、境港の弱点がわかった気がする。
- ・中途半端に田舎で市街。農業のブランド化、耕作放棄地（農地を借りやすく、ドッグランをつくる、キャンプ場にする）
- ・市民が一度は水木しげるロードを訪れる…水木しげるロードに関心を持つ
漁業の栽培化で安全な職業に…漁業者の増加
- ・水木しげるロードの除草をシーズン中にしてほしい。せっかく観光客に来ていただいているのに、ロードに草が茂っていて印象が悪いのではと思う。他の市道もシーズン中だけでも除草をしたら良いと思う。県外や外国ではきれいにしているとても良い印象が残っています。
- ・全国の港町連携、とても良いと思う。全国的にめずらしい。実現すれば話題にならないか⇒境港の発信になる。
- ・買物難民の問題について、何か解決法はないかと思いました。
- ・飛行機（自衛隊機）、船（古い曳船）などの展示。

【教育・文化】

- ・地域住民全員が、「顔なじみ」になれば、大人全員が子どもたちを見守れる。「顔なじみ」は地域防災にも役立ちます。
- ・図書館の拡充。書店にならぶ書籍は売れるものを配本されている。多様な選択肢

の提供。

- ・美保関沖事件、玉栄丸爆発事故等、境港にも戦争の傷はいっぱいある。そういう事を含め、歴史上の遺品を展示、保管する施設がほしい。
- ・誠道小学校の利活用
八頭の隼小学校、西栗倉村、福岡田川市いいかねパレット
地域通貨を使った子供たちの遊び方
- ・異世代が話し合う交流の場が必要。
- ・いろんな世代間での交流必要！（小・中・高と年配者）、山陰各地の人・場所についての平和学習—広島だけではない！
- ・若者と高齢者との交流の場は今後特に必要になると思う。
- ・ブラック校則が問題になっています。生徒自身に考えさせるべき。
- ・境港の歴史を知る場、平和教育の実施は良いと思いました。小・中・高の子供達が集まれるところが出来たら良いです。市民の声の発信、確認の場大切です。
- ・異世代別の人々が気軽に集まれる場所があると良い（例：公民館等）。子育てや健康・福祉・教育など解決できるのでは？
- ・市長さんが中学校、小学校などに行って計画や問題点について話したら、もっと住んでいる境港市を考え、好きになるのでは。将来の市民の自覚になるのでは？
- ・地元の見直す機会づくり⇒小・中・高生の連続性、つながりづくり。
中・高生の職業教育。受け入れ側にとっても効果大。
- ・できればもっと細部について協議していただく時間が欲しかった。
- ・（教育）大人の遊び、趣味のニーズの調査（文化）歴史への研究⇒展示⇒産業化

【環境・都市基盤・防災】

- ・海の水質改善が必要。
- ・各戸に防災無線を、というのは良いと感じた。さらに緊急通報のボタンを付ける事でいざという時の孤立化を防げるのではと感じた。緊急通報ボタン（各戸の状況に応じて）：声帯をとった叔父は119番通報できなかった
- ・ゴミに関する課題、海水改善、Maas
- ・空室、荒廃地対策の急務。防災無線が聞こえにくい。
- ・去年まで数年間、弓ヶ浜展望台付近砂浜でのゴミ拾いを月1回の“夢拾い”として続けてきましたが、ここ1～2年休止に…主催者の人の話だとゴミ収集の仕方の注文が難しすぎると…
- ・これからはやはりドローンの活躍になるのかな？
- ・夜道が暗くて危ない。
- ・広報のため市報、ホームページだけでは伝わらない。折角更新した行政無線を有効に使うこと。現在更新後に聞こえにくい場所が多くある。早急に点検をして改善をする。
- ・パブリックコメントの位置付けは？どれだけ反映されるのか？話し合いの機会づ

くり（課・部の垣根を越えて）⇒50年後の目標からバックキャスト。そのための10年後の具体的目標は何か？

- ・境港から避難する時は米子への一方向しか逃げ道がない。混雑したら避難できるのか？と心配…。空・海からの手段をもっと実現性の高いものにしてもらいたい。
- ・防災インフラ、防災計画、避難計画の周知。

【協働・デジタル化・行財政】

- ・ふるさと納税
- ・デジタルでの情報発信不足
- ・Maas（自動運転）、ロボティクス（ゴミ収集）、市役所の行政のIT（DX）化だけでなく、市民の直接利益となるデジタル化
- ・公文書には現在元号表記されているが、西暦表記との関連がわかりにくい。併記などしてわかりやすくする。社会ではグローバルに西暦使用するところが多い。
- ・法人をもっと増やすべき。高齢者への勉強会。市民・民間の団体との仕事上の関係性を強くもつ。

Q2. 境港市が将来都市像として掲げる「笑顔あふれる 日本一住みたいまち」となるために最も大切なことは何だと思いますか？

- ・人との繋がりやこの土地ならではの体験。
- ・交通の便の改善。市議会議員の意識改革（文化・歴史を考える議員が今の議員の中にいるのか…？）
- ・お題目の「日本一」ではなく、本当に日本一と呼ばれるものを行政と民間が協力して日本一。海洋ITテクノロジー日本一とか
- ・大きな災害のない時や近くに何でもある便利な町としては誇るべきものがあるが…。砂浜・海・川・水のきれいな自然に恵まれた町。
- ・市民一人一人が自分のこととして本気で考えていくこと。
- ・移住者、若者が交流でき、住み続ける気持ちになれる。ちょこっとカフェで交流。
- ・境港は住みやすいところだと思います。交通の利便性が良くなればもっと良いと思います。
- ・市民の声が伝わる市、市民全体がまとまる市。
- ・話し合いの場づくり。小さな声をいかに拾えるか？いろいろな人が自然と集まれる場づくり。何かしら人が活動している。
- ・市民が境港のことを一番好きだと思えるようにすること。日常当たり前だと思っていることだが、よそから見ればとても良いことだと思ってもらえること。
- ・人と人とのふれあい、集いの場がもっと増えれば良いと思います。
- ・他都市でやっていることは、それを参考に境港版にすれば良い。他のまちにないオリジナルな計画で良くする方法を考えるべき。

Q3. ワークショップの手法についていかがですか？

①満足	3人
②まあ満足	10人
③どちらともいえない	0人
④やや不満	1人
⑤不満	0人
⑥未記入	2人

【感想やご意見】

- ・分野を区切って議論したが、まちづくりにおいては偏りを無くしても良かったのではと感じた。
- ・回数を重ねた方が良い（若い人が少ない!!）。
- ・各分野に分かれていて、自分の興味のある分野についての話が聞けて良かった。
- ・テーマごとにファシリテーターがついたのは良かったと思う。
- ・色々な意見が聞けて大変良かった。特に若い方、都市からUターンされてきた方。
- ・今回はコロナのため仕方ないですが、もう少し聞き取りやすければ良かった。
- ・回が進めば、参加者が発表する方式にしても良いのでは？参加者が全体を回れても良かった。そしてふせんを貼っていく。
- ・意見多彩な人が多く、何だかワクワクしながら話をする事ができた。
- ・満足ですが、課題について討議する時間がやや短い感じがしました。

Q4. 今日の会に参加していかがでしたか？

①満足	4人
②まあ満足	9人
③どちらともいえない	0人
④やや不満	0人
⑤不満	0人
⑥未記入	3人

【感想やご意見】

- ・郷土愛を持った方々の話は刺激も多く、ワークショップそのものが貴重な交流になったと思う。
- ・時間が足りない。午後にして、もう少し時間を延ばしても良いのでは？マスク、クリアボードがあり仕方のない事だけど、声が聞きとりにくかった。
- ・初の参加でしたが、伝えたいことはできたと思います。
- ・いろいろな方の意見が聞けて良かったです。今後役に立てることも出来ます。

- ・少し声が通りにくい。聞こえづらかった。
- ・ファシリテーター（意見の引き出し、意見の深掘り等）の力量不足を感じる。
- ・今回の会に出席させていただき、色々な課題について協議させていただき、今後この内容について「具体的な施策」が見いだせれば良いと思っています。
- ・参加人数が少ない（コロナしかたない）。